

2 法適用企業の経営状況

(1) 損益収支

令和5年度の経常収益（営業収益＋営業外収益）は1,658億97百万円、経常費用（営業費用＋営業外費用）は1,531億77百万円となっており、経常収支比率（経常費用に対する経常収益の割合）は108.3%と収支均衡点である100.0を8.3ポイント上回っており、前年度に比べ0.8ポイント減となっている。

また、令和5年度の経常収支において経常損益が黒字であった事業は、144事業のうち129事業、139億16百万円（前年度142億02百万円）となっており、一方、経常損益が赤字であった事業は15事業、11億96百万円（前年度3億87百万円）となっている。

経常損失の状況を事業別にみると、下水道事業が86事業中4事業で65百万円の経常損失を生じたのを始め、水道事業（簡易水道事業を含む。）が43事業中7事業で1億85百万円、病院事業は6事業中4事業で9億46百万円となっている。

(2) 累積欠損金

営業活動による各事業年度の損失（赤字）額が累積された累積欠損金は、令和5年度末において36億24百万円で、令和4年度末の41億26百万円に比べ、5億2百万円減となっている。

累積欠損金を有する事業は11事業となっており、事業別にみると、病院事業が6事業中3事業で31億50百万円と最も多くなっている。また、前年度との比較でみると、水道事業で1億08百万円減、工業用水道事業で2百万円増、病院事業で3億52百万円減、下水道事業で44百万円減となっている。

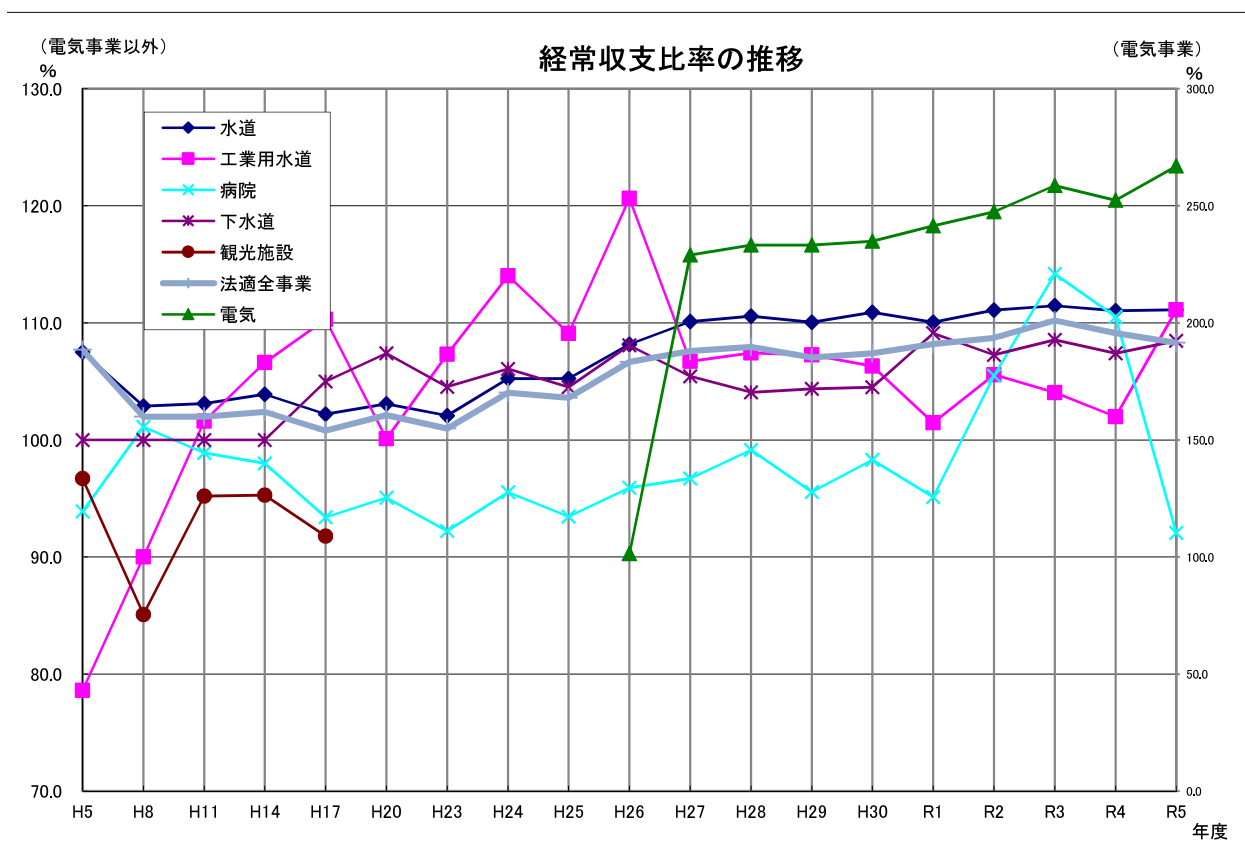
(3) 不良債務

令和5年度末において、流動負債の額が流動資産の額を超える額である不良債務を有する事業は、1事業（下水道事業）で9百万円となっている。

法適用企業の事業別決算状況

(単位: 百万円)

事業 項目	水道 (簡易水道含む)	工業用水道	電気	病院	下水道	合計
総 収 益 (A)	67,963	689	106	10,979	86,342	166,079
経 常 収 益 (B)	67,858	689	106	10,978	86,266	165,897
営 業 収 益	59,671	551	106	9,593	33,456	103,377
総 費 用 (C)	61,184	620	40	11,925	79,689	153,458
経 常 費 用 (D)	61,069	620	40	11,924	79,524	153,177
経 常 損 益	6,789	69	66	△ 946	6,742	12,720
経 常 利 益	6,974	69	66	0	6,807	13,916
経 常 損 失 (△)	185	0	0	946	65	1,196
純 損 益 ((A) - (C))	6,779	69	66	△ 946	6,653	12,621
累 積 欠 損 金	0	1,047	0	1,780	797	3,624
不 良 債 務	0	0	0	0	9	9
事 業 数	43	8	1	6	86	144
う ち 建 設 中	0	1	0	0	0	1
経常損失を生じた事業数	7	0	0	4	4	15
累積欠損金を有する事業数	0	2	0	3	6	11
不良債務を有する事業数	0	0	0	0	1	1
経常収支比率(B)/(D) (%)	111.1	111.1	267.0	92.1	108.5	108.3
総収支比率(A)/(C) (%)	111.1	111.1	267.0	92.1	108.3	108.2



(4) 資本的収支

令和5年度における資本的支出は1,112億90百万円で、前年度の1,077億76百万円に比べて35億14百万円増加している。この内訳は建設改良費が614億57百万円で、前年度の586億31百万円に比べ28億26百万円増加しており、企業債償還金が482億8百万円で、前年度の479億61百万円に比べ2億47百万円増加している。

これに対する財源は、企業債が358億50百万円、他会計繰入金が108億96百万円、国県補助金が105億29百万円となっている。

資本的支出に対する財源不足額は514億13百万円で、補てん財源は506億25百万円となっており、7億88百万円の補てん財源不足が生じている。また、補てん財源のうち過年度分損益勘定留保資金が37.0%を占めている。

次に企業債元利償還金の状況を見ると、令和5年度の企業債元利償還金は570億63百万円で、前年度の563億28百万円に比べ7億35百万円減少している。

料金収入に対する企業債元利償還金の割合は58.6%で前年度の60.0%に比べ1.4ポイント減少している。これを事業別にみると、下水道事業が132.2%で最も高い割合を示しており、続いて電気事業50.0%、工業用水道事業36.7%となっている。

法適用企業の事業別資本収支の状況

(単位:百万円)

事業 項目	水道	工業用水道	電気	病院	下水道	合計
資本的支出	43,442	281	55	2,174	65,338	111,290
うち建設改良費	30,958	112	5	862	29,520	61,457
うち企業債償還金	12,439	169	51	981	34,568	48,208
資本的収入	20,154	111	0	1,392	38,346	60,003
うち企業債	16,084	17	0	445	19,304	35,850
他会計繰入金	1,527	93	0	664	8,612	10,896
国県補助金	1,735	0	0	51	8,743	10,529
財源不足額	23,288	170	55	789	27,111	51,413
補てん財源	22,853	170	55	532	27,015	50,625
補てん財源不足額	435	0	0	257	96	788

料金収入に対する企業債元利償還金

(単位:百万円)

事業	項目	料金収入 (A)	企業債 元利償還金 (B)	企業債償還金		料金中償還金 (B)/(A) (%)
				(C)	(D)	
水道		56,643	14,582	12,439	2,143	25.7
工業用水道		512	188	169	19	36.7
電気		106	53	51	2	50.0
病院		7,615	1,085	981	104	14.2
下水道		30,471	40,278	34,568	5,710	132.2
合計		95,347	56,186	48,208	7,978	58.9

料金収入に対する企業債元利償還金の割合

